

2023年10月17日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気*	緩やかに回復している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
7月の生産動向	生産は足踏みがみられる
8月の個人消費	乗用車新車販売は8カ月連続で前年を上回る
8月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を下回る
8月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を下回る
8月の雇用情勢	有効求人倍率は9カ月ぶりに前月を上回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2023年9月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

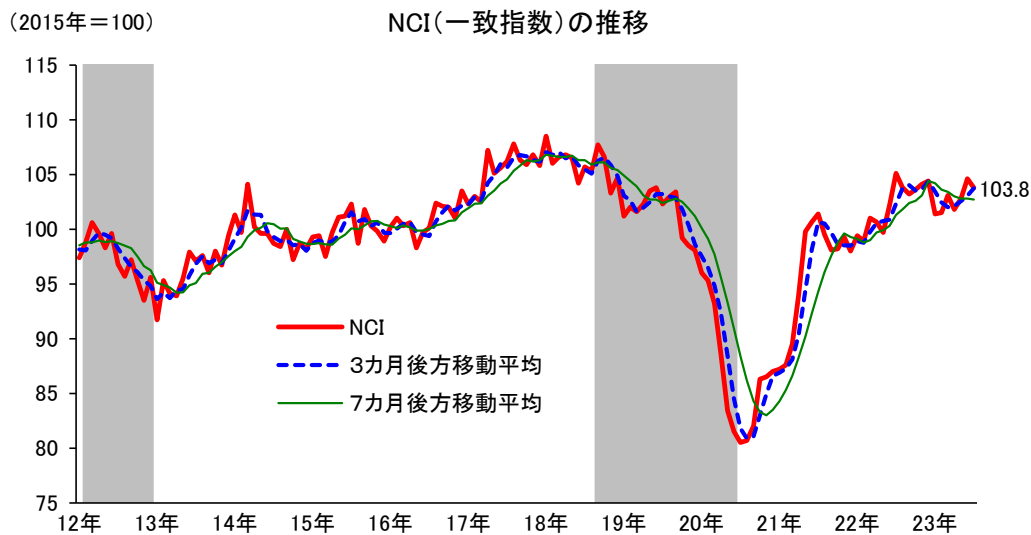
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

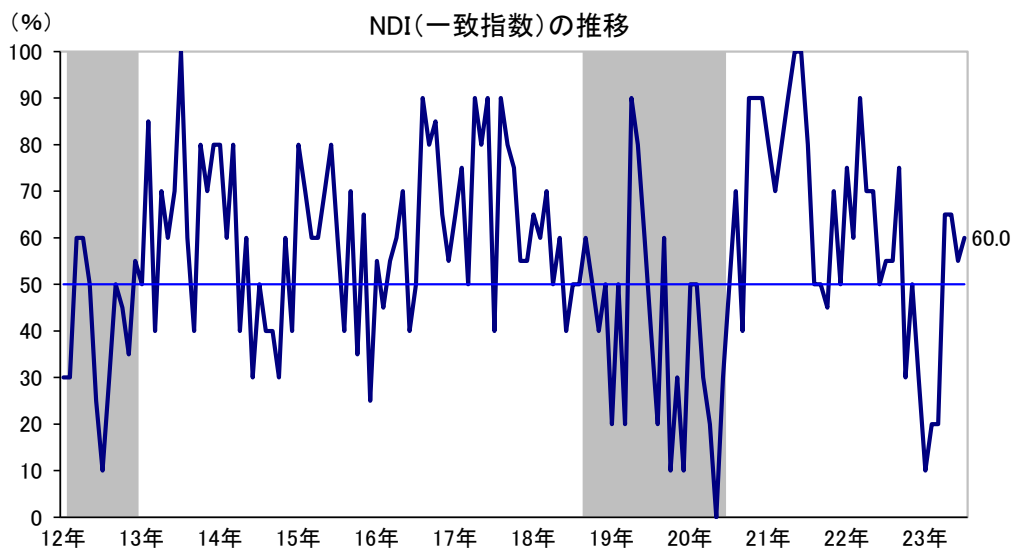


景気動向指数

- ・7月のNCI(一致指数)は、103.8と前月と比較し△0.8ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.7ポイントと4カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同△0.1ポイントと2カ月ぶりに低下した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、60.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を4カ月連続で上回った。



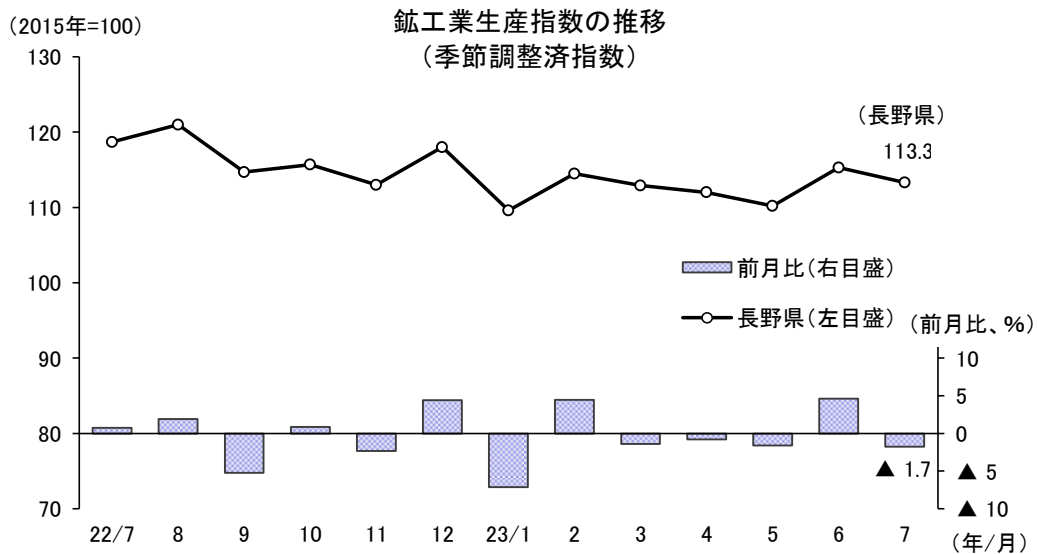
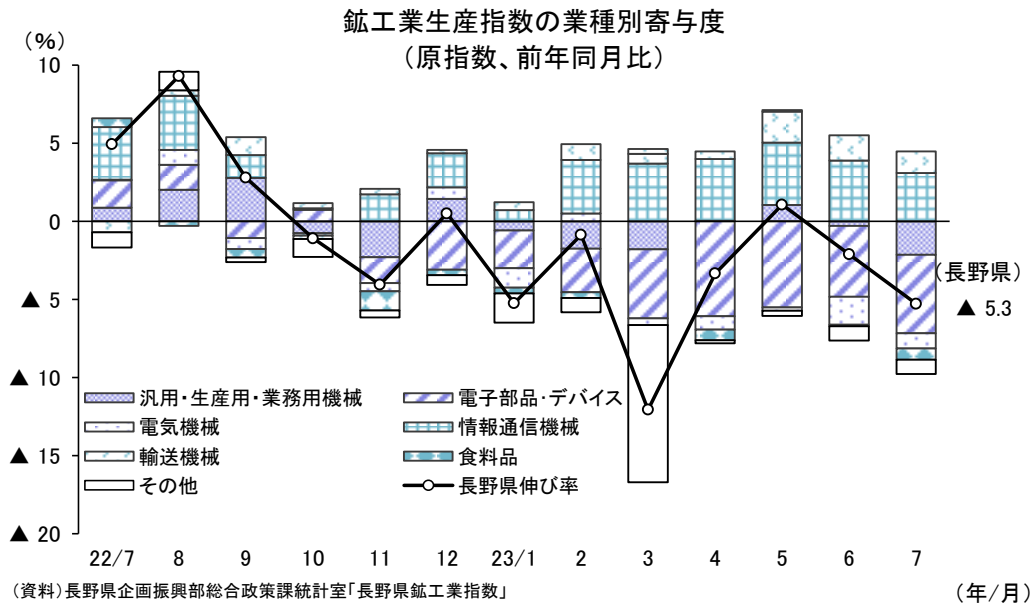
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

生産は足踏みがみられる

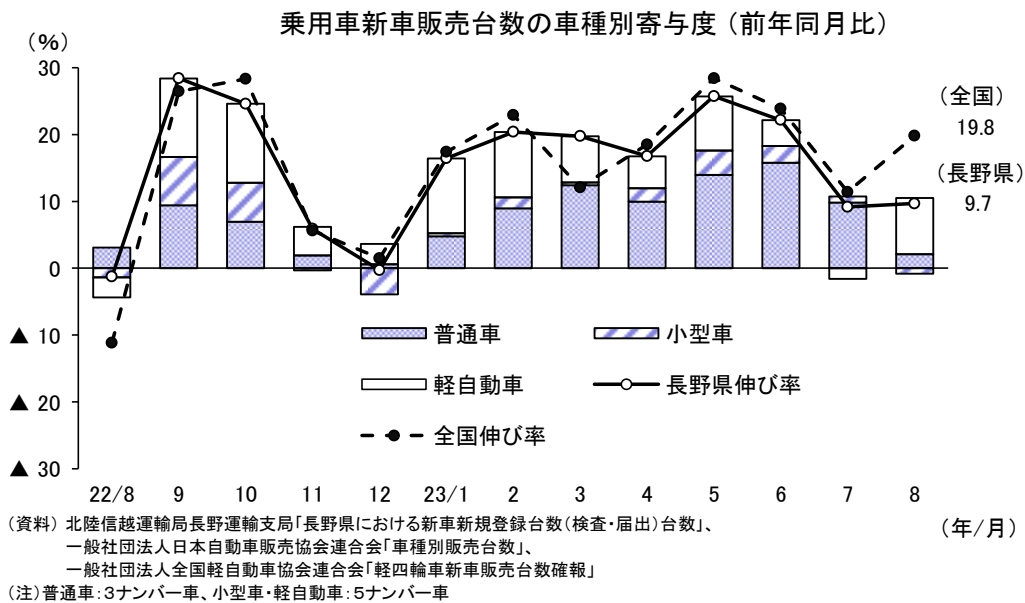
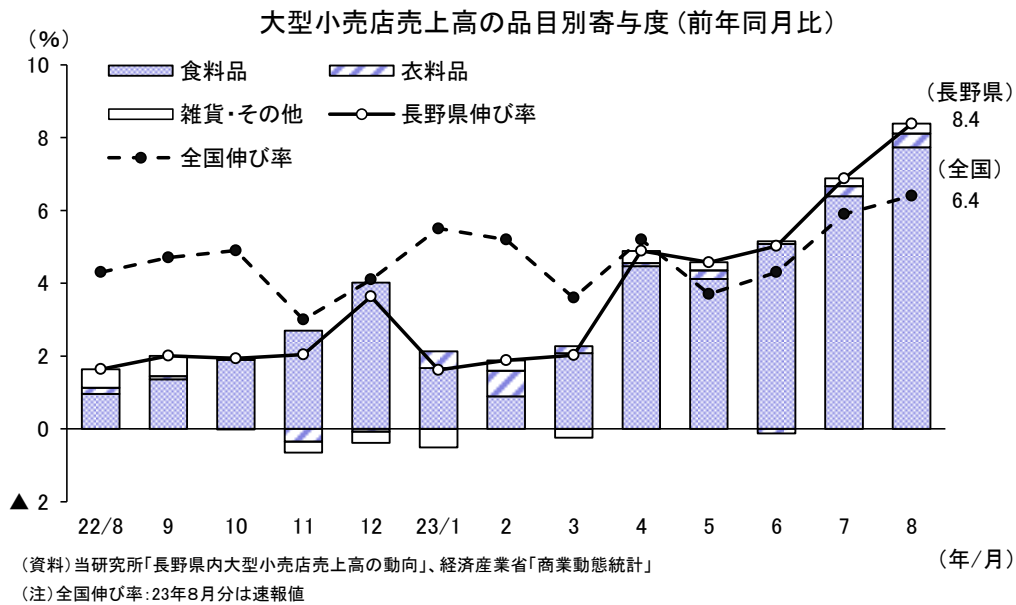
- ・7月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比 Δ 5.3%、季節調整済指数が前月比 Δ 1.7%となった。
- ・原指数は2カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「汎用・生産用・業務用機械」、「電気機械」などが前年を下回った。



(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」

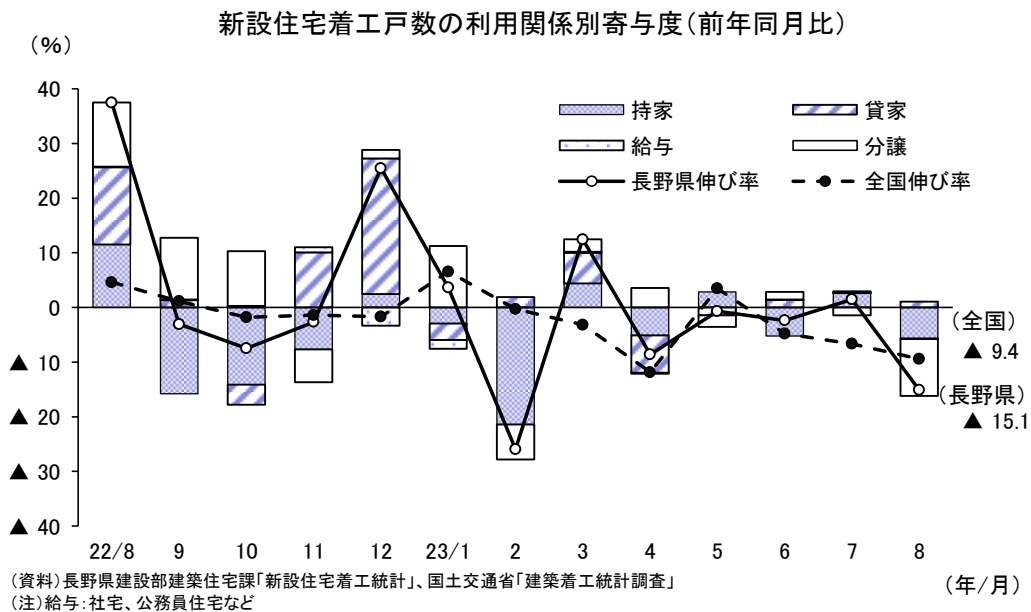
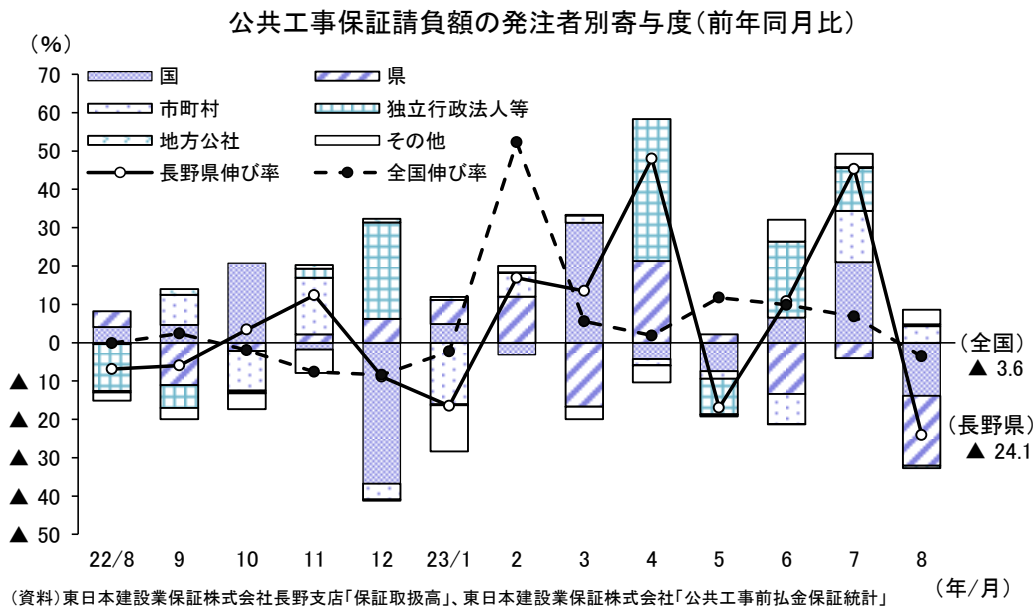
乗用車新車販売は8カ月連続で前年を上回る

- 8月の大型小売店売上高は、前年同月比+8.4%（売場面積調整前）となり、23カ月連続で前年を上回った。食料品は、猛暑が続いたことで飲料や総菜などが好調だったほか、販売価格の上昇などもあり、同+8.9%となった。衣料品は、来店客数が増加したほか夏物が好調で、同+10.2%となった。雑貨・その他は、身の回り品や化粧品売り上げが増加し、同+2.9%となった。
- 8月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが改善し、前年同月比+9.7%と8カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は同+5.7%と13カ月連続、軽自動車は同+21.5%と2カ月ぶりに前年を上回った。一方、小型車は同△3.4%と8カ月ぶりに前年を下回った。



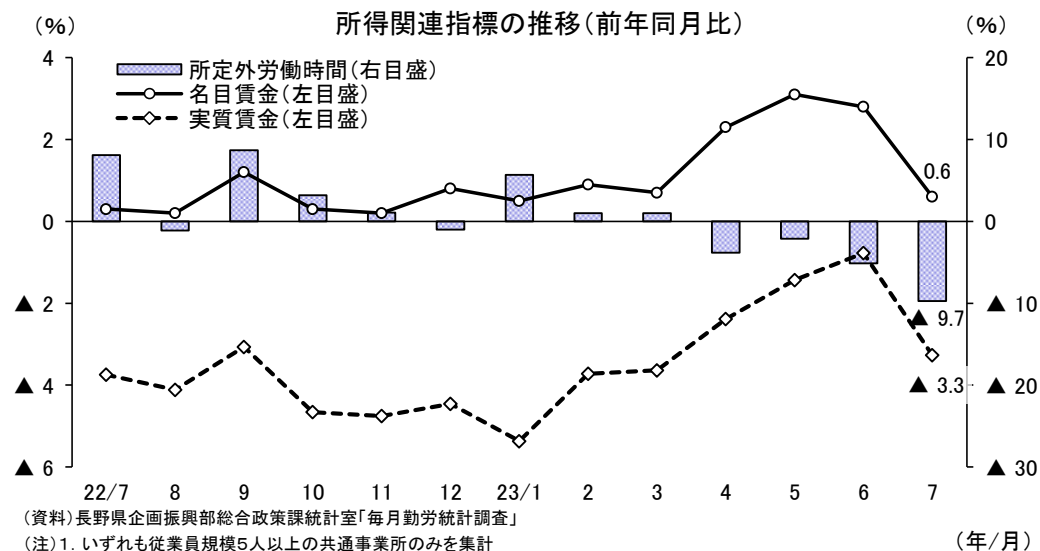
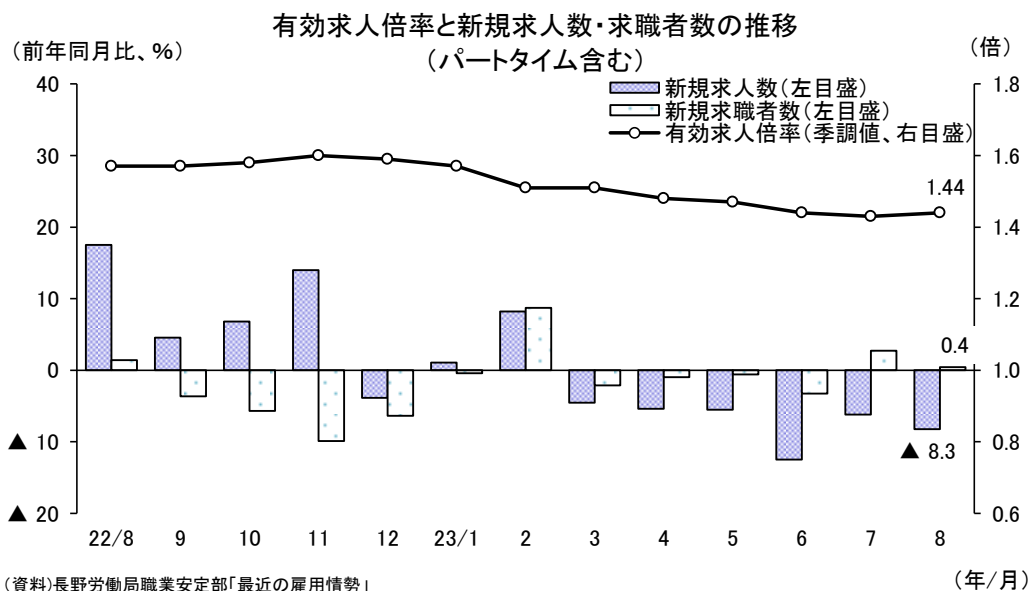
公共工事保証請負額は3カ月ぶりに前年を下回る

- 8月の公共工事保証請負額は、前年同月比△24.1%の119億6,500万円となり、3カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、市町村が同+13.3%、地方公社が同+101.0%と増加したものの、国が同△64.8%、独立行政法人等が同△27.2%、県が同△40.9%と減少した。
- 8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△15.1%の1,105戸と2カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+4.2%と増加したものの、持家が同△11.0%、分譲が同△46.6%と減少した。



有効求人倍率は9カ月ぶりに前月を上回る

- ・8月の有効求人倍率は、前月比+0.01ポイントの1.44倍と、9カ月ぶりに前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△8.3%となり、6カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△4.1%、パートは同△13.3%となった。主要産業別では、不動産業・物品賃貸業が同+10.4%、金融業・保険業が同+1.0%と前年を上回ったものの、製造業が同△20.0%、建設業が同△6.8%、運輸業・郵便業が同△15.6%などと、多くの産業が前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比+0.4%と2カ月連続で前年を上回った。
- ・7月の名目賃金は前年同月比+0.6%と27カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△3.3%と19カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△9.7%と、4カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は35カ月連続で全国を上回る

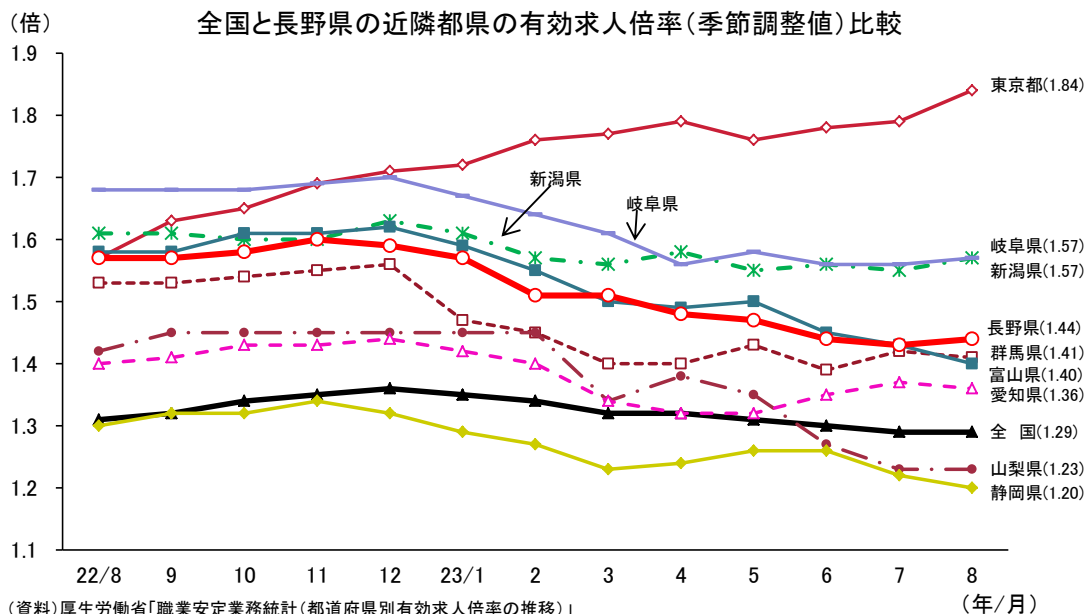
- ・8月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.07ポイントの1.42倍、東信が同△0.18ポイントの1.43倍、中信が同△0.12ポイントの1.49倍、南信が同△0.16ポイントの1.44倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、木曾福島が1.62倍と最も高く、次いで飯田が1.56倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は35カ月連続で全国を上回り、順位は前月と同じ11位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年8月)

地域	北 信(1.42) (前年同月比▲0.07)				東 信(1.43) (前年同月比▲0.18)		中 信(1.49) (前年同月比▲0.12)			南 信(1.44) (前年同月比▲0.16)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.48	1.25	1.54	1.36	1.40	1.45	1.50	1.62	1.38	1.56	1.29	1.48
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.02	▲ 0.13	▲ 0.11	▲ 0.21	▲ 0.19	▲ 0.18	▲ 0.12	0.03	▲ 0.20	▲ 0.12	▲ 0.25	▲ 0.11
うち常用	1.32	1.21	1.41	1.29	1.32	1.41	1.28	1.52	1.25	1.50	1.15	1.39
前年同月比 (ポイント)	0.01	▲ 0.13	▲ 0.06	▲ 0.18	▲ 0.15	▲ 0.15	▲ 0.06	▲ 0.01	▲ 0.11	▲ 0.04	▲ 0.17	▲ 0.12

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県